

石川高等学校学校運営協議会
(コミュニティスクール)

本校のめざすもの

人に学び、地域と歩む ～夢を地域とともに～

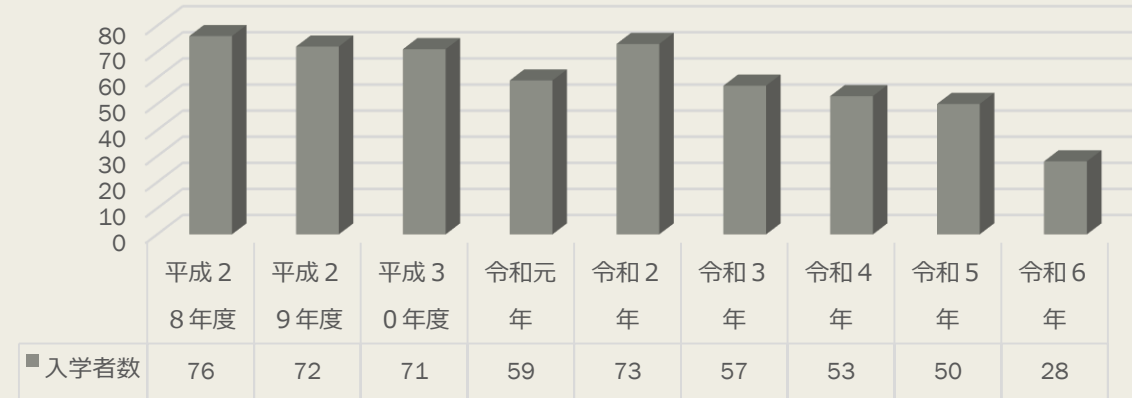
今年度より本校はコミュニティスクールとなり、学校と地域の方々が力を合わせて生徒のみなさんの成長をサポートしていきます。「いしかわ WORK & LIFE 教育」を通じたキャリア教育や探究活動に加え、教科の学習、学校行事、部活動など学校生活全般にわたり、地域と結びつきながら学びの充実に努めます。また、安心して学校生活を送ることができるために、小規模校ならではの心のサポートにも力を入れます。本校は、皆さんの夢の実現を、たくさんの人に支えながらかなえることができる学校をめざしています。

学校案内より

1 学校運営協議会の目的

(1) 学校運営の視点

入学生徒数推移



- ○ 1 学級本校化
- 令和 8 年度以降
- 生徒数 40 人 × 3 学年 = 120 人
- 教諭数 7 人 (養護教諭、講師等を除く)
- 学習環境をどの様に充実させていくのか。
- ○ 地域と共に歩みを進める学校の推進
- 地域と学校のウェルビーイング (幸福) にどの様に貢献できるのか。



福島県立石川高等学校スクールミッション

高校の存在意義
期待される社会的役割
目指すべき学校像

校訓「自律」「進取」「信義」のもと、県中地区の地域協働推進校に位置する普通科の高校
確かな学力の定着と適切な職業観・勤労観の形成を通して、「生きる力」や「人間力」など
社会的・職業的自立に必要な能力を身に付けることにより、地域創生を担う人材を育成する学校
「キャリアチャレンジ」と「地域創造探究活動」等の体験による生きた学びを通して、多様な
進路を実現し、地域に信頼され、地域と共に歩みを進める学校

学科/学年	1	2	3	合計
普通科	28	48	50	126

キャリアチャレンジ 2年次 4月～7月で1事業所 9月～1月で1事業所
3年次 通年で1事業所

石川高校 地域協働推進校 いしかわWORK&LIFE教育

地域創造探究（総合的な探究の時間）
1年生1単位 2年生1単位 3年生2単位



望ましい職業観・勤労観の育成と進路適性の発見

キャリアチャレンジ

（事業所での職場長期体験実習）

伸ばしたい能力：

- 1 人間関係形成、社会性
- 2 自己理解、自己管理
- 3 課題解決能力
- 4 コミュニケーション能力
- 5 キャリアプランニング能力など



「地域に貢献できる人材の育成を目指します」

地域を知る

石川高校

1. 進路希望に応じた2つのコース制
アカデミック探究コース ～基礎から学んで未来を創ろう～
キャリア探究コース ～よりよい職業観を育成しよう～
2. 1人1台端末を活用した個別最適化学習の充実
3. 学校行事・各種体験活動の充実



地域に貢献する

コミュニティスクール

同窓会、行政、商工会との連携、石川小、石川中と連続性のある教育活動、石川地域ならではの教育を構築

地域で学ぶ

地域に伝える

石川町内事業所

キャリアチャレンジ受入
合同企業説明会
地元企業見学会受入

石川町役場

高校魅力化事業
石川町高校生と共に創るまちづくり事業

地域人材、資源を活用した地域創造探究活動

3年次 「地域に貢献する」 探究×進路

- 4月 個人課題再考・修正
- 5月～ 個人探究活動
- 6月 中間成果発表会
- 1月 最終成果発表会

2年次 「地域で学ぶ」 探究活動開始

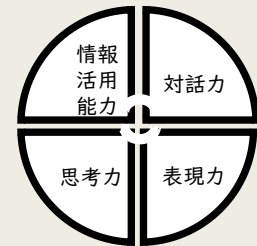
- 4月～ 個人課題テーマ決定
- 6月 中間成果発表会
- 7月～ 個別探究活動開始
外部講師活用事業
- 1月 最終成果発表会

1年次 「地域を知る」 地域課題の発見

- 5月 まち歩きフィールドワーク
- 9月 自治センター訪問
- 12月 地域人材による講話
- 1月 最終成果発表
- 1月～ テーマ設定開始



- 中間成果発表会（9月）
- 最終成果発表会（1月）
- その他外部での発表



生徒が育つ・いしかわWORK&LIFE教育を支える恵まれた学びの環境

自治（防災講話等）・産業（2年次インターンシップ）・文化（民謡講座等）・歴史（自由民権発祥の地）・環境（鉱物フィールドワーク）

(2) 協議会がめざすもの

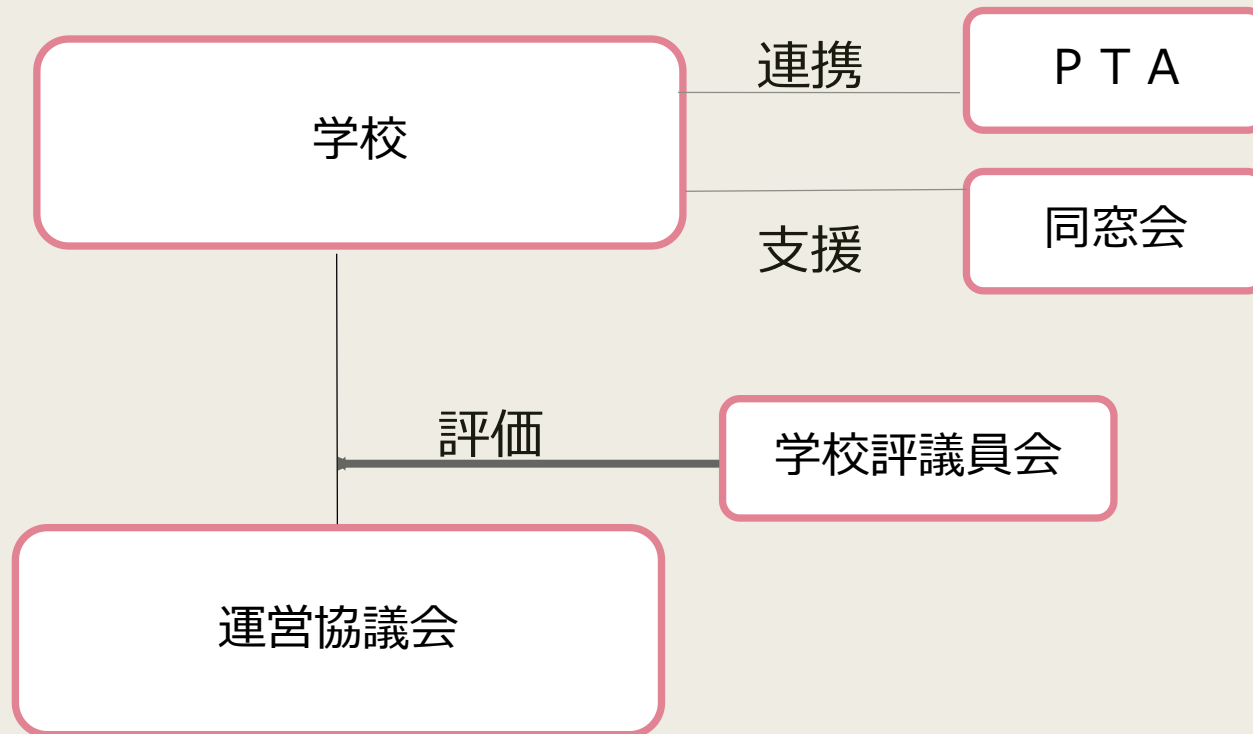
- ○学校運営の参画者の一員として、学校が抱える課題を解決するための幅広いアイデアを出し合い、実施上の協力をいただく。
- ○生徒が社会とともに生きるために必要な課題解決能力や協働性を育むための方策についてのアイデアを出し合い、実施上の協力をいただく。

2 規約

- ①委員数は15名以内 令和6年度は9名
- ②任期2年（再任あり）
- ③会長が招集し議長を務める
- ④3部会制 部会長は委員、副部会長は事務局員
- 学校活動の改善・充実にあたる
- ⑤事務局は、教職員。庶務を行う。

別紙協議会規約より

3 学校との関係



< 教育方針 >

予測困難な時代を生き抜くための基盤となる資質・能力を身につけるために、自ら目標を定め、目標達成のために見通しを持って課題に取り組む意欲と実行力のある生徒、心豊かで健やかな体を持つ生徒を育てます。

< 校訓 >
自律 進取 信義



校章は菜の花をデザイン化したものです。菜の花の鮮やかな黄色は若さと希望を象徴し、人々の平和への願いも込められています。

< 人に学び、地域と歩む ～地域連携のさらなる深化へ～ >

本校では、地域の皆様のご支援のもと「いしかわWORK & LIFE教育」の実践をとおして日々学びを続けています。石川郡内唯一の県立高校として、地域との連携をさらに深め、その発展に寄与できる人材の育成を目指し、地域と共に歩んで参ります。社会を生き抜く能力・資質の育成はもとより、調和と協働により課題解決に挑む力と豊かな心の醸成を図り、世界の未来への飛躍を実現する一助となるよう努めて参ります。 校長 小川 和英

重点目標1 基礎学力の定着と課題解決能力の育成を図ります。

重点事項

- 1 基礎的な知識・技能の定着を図るとともに、それらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力の育成を目指します。
- 2 個に応じた宿題等の課題を適切に課し、自主学習や家庭学習の支援体制を構築します。
- 3 教職員の授業力向上に資する研修やICTの効果的な活用を実践し、探究的で深い学びを進めていきます。
- 4 「いしかわWORK & LIFE教育」における「キャリアチャレンジ」と「地域創造探究活動」等の体験学習を重視し、未来へつながるキャリア教育を充実させます。

重点目標2 豊かな心と健やかな体を育てます。

重点事項

- 1 基本的な生活習慣の定着を重視した支援を行い、自律的に生活ができる生徒の育成を目指します。
- 2 人権意識を醸成し、自分と同様に他者を尊重する心を育み、いじめの未然防止に努めます。
- 3 安全、防災に関する意識を高め命を大切にすることを育てます。
- 4 公共におけるマナーと情報リテラシーを身に付けさせ、よりよい社会人となる基礎を育てます。
- 5 関係機関と連携した教育相談体制を充実させます。
- 6 特別活動や部活動を活性化し、挑戦心と協働の意識を育てます。

重点目標3 進路希望の100%実現を目指します。

重点事項

- 1 発達段階に応じたきめ細かな指導・支援を行い、早期の進路目標の設定を実現します。
- 2 1年次より企業説明会等に参加することで、社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育てます。
- 3 必要とされる進路情報を適時適切に提供します。
- 4 進路目標の実現に向け、生徒一人一人の個性と適性を踏まえた進路指導を充実させます。

重点目標4 信頼される開かれた学校づくりを進めます。

重点事項

- 1 ホームページやメール配信を積極的に活用し、家庭や地域社会への迅速で適切な情報の発信に努めます。
- 2 家庭や地域社会と連携し、安全で安心な教育環境を整備します。
- 3 コンプライアンスを遵守し、教職員の不祥事絶無を目指します。
- 4 学校運営協議会を中心とした、地域連携を深めて参ります。

地域に誇りと愛情を持ち、よりよい社会人となるために、日々、学びを進めています!

県石公認マスコット「菜ノ」より



住所 〒963-7845 石川郡石川町字高田200-1

電話 0247-26-1656 ホームページ <https://shikawa-h.fcs.ed.jp>

学校経営・地域連携 部会

生徒活動部会

学校経営部会

学校経営・地域連携・生徒活動 部会

承認

4 年次計画

- 1年次 1学級本校化からの学校運営の充実の視点
 - 学校の実態を知り、学校運営の充実に向けた支援のあり方を探る
- 2年次 学校運営の充実へ向けた改善の視点と地域協働の視点
 - 地域協働の視点からの、学校運営の改善に向けた取り組みの提案と支援
- 3年次 地域協働の視点を踏まえた、1学級×3学年完成年度としての学校運営の改善
 - 地域協働の視点を取り入れた学校づくりに向けた提案と支援